

とくしまいじめ問題 子どもサミット2025

いじめ防止(子ども)委員会の取組
—概要資料—

令和7年11月7日（金）

いじめ・不登校対策課

校種	学校名	ページ
小学校	徳島市内町小学校	1・2
	徳島市富田小学校	3・4
	徳島市沖洲小学校	5・6
	徳島市南井上小学校	7・8
	鳴門市里浦小学校	9・10
	阿南市立富岡小学校	11
	阿波市立土成小学校	12
	海陽町立宍喰小学校	13・14
	上板町立松島小学校	15
	鳴門教育大学附属小学校	16・17
中学校	徳島市徳島中学校	18・19
	徳島市八万中学校	20
	阿南市立阿南中学校	21・22
	阿南市立加茂谷中学校	23
	美馬市立美馬中学校	24
	美馬市立三島中学校	25
	三好市立三野中学校	26・27
	佐那河内村立佐那河内中学校	28
	石井町高浦中学校	29・30
	上板町立上板中学校	31・32
高等学校	徳島県立富岡東中学校	33・34
	徳島県立川島中学校	35・36
	鳴門教育大学附属中学校	37
	徳島県立つるぎ高等学校	38
	徳島県立川島高等学校	39
	徳島県立鳴門高等学校	40・41
	徳島県立阿波高等学校	42・43
	徳島県立那賀高等学校	44・45
	徳島県立名西高等学校	46
	徳島県立阿波西高等学校	47・48

内町小学校いじめ防止子ども委員会の取組

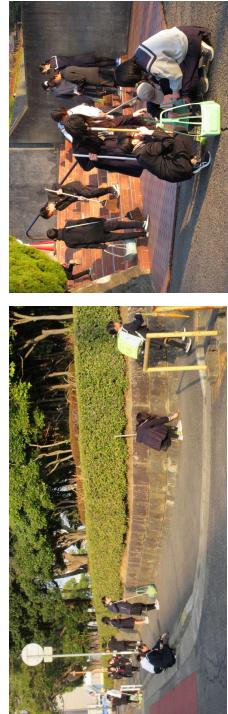
内町小学校のめざす子ども像の中に、「自分も人も大切にする子」とあります。お互いを大切に思ふためには、「友達」になることがあります。全校児童が仲良く話しあう「友達」になります。

1

1

◎委員会の取組

- あいさつ運動・ボランティア清掃
登校時間に清掃とあいさつ運動を続けています。あいさつの一言が自分と相手の関わりのきっかけになります。良いいいしさつをすることがあります。また多くの人たちとのあることについて、心を加えます。そこで、その他の場面でも自然と会話をすることを心がけています。



2

2

○交流イベントの実施

他学年のことを知ることができる、仲良くなり、友達を増やすことにつながるを考え、異学年で交流できるよう2択クイズを実施しました。いろんな学年で構成されたグループをつくり、学校のことでや先生についてのクイズをグループのみんなで相談しながら考えるように工夫しました。イベントでの交流が、異学年児童が集まつたり「ふれあい班活動」や、休み時間に他学年ど楽しく遊ぶことにもつながりました。



3

◎日常の取組（6年生）

- 役に立てたことの発表
帰りの会で、毎日1日で、「自分が周りの人役に立てたこと」をグループで話し、交流しているのです。毎日「他者のために」「実際に行動する」という意識をもつて生活するこどで、困ったときに「どうするか」「どうすればいいか」など、自分なりに考え、力につながつてきました。前回は「当たり前に」でした。



4

○全力で清掃
生活環境を美しく整えることは、心も身につながることであります。清掃時に入数言で一生懸命そうじをする心がけ、協力で日々の生活をより豊かにする心がけ、協力をともにすることです。



5

◎全校の取組

○あつたかスマイルツリー
友達の良いところを見る「あつたかスマイルツリー」という取組を行っています。児童玄関に掲示するだけではなく、掲示されたところを温かい所を見ることで、お互いに良いことがあります。全校で温かい合意をめざしています。



6

◎全校の取組

○あつたかスマイルツリー
友達の良いところを見る「あつたかスマイルツリー」という取組を行っています。児童玄関に掲示するだけではなく、掲示されたところを温かい所を見ることで、お互いに良いことがあります。全校で温かい合意をめざしています。



2

「とくしまいじめ問題 子どもサミット2025」 ～いじめのない笑顔あふれる学校に するためには私たちにできること～

徳島市富田小学校



富田小学校の状況

令和6年度も令和7年度もいじめの認知件数は**0件！**

1



1

3

**わたしたちの思う「いじめ」にならない
理由は3つある。**

- (1)すぐに反省してあやまることができているからではないか。
- (2)解決しようと考えているからではないか。
- (3)けんかしても、その子のもともとのよさがわかっているからではないか。



つまり、

- ①解決に向けて話し合える力がついている。
- ②わかり合える人間関係ができる。

3

①解決に向けて話し合える力をつけるために、取り組んでいること

- ・代表委員会で「運動会のスローガン」などについて話し合いをしている。
- ・道徳の授業や人権の授業でいじめ防止について、真剣に学んだり、深く考えたりしている。



4

②わかり合える人間関係をつくるために 取り組んでいること

- たてわり班でとみだっこタイムや学校の清掃をしている。
☆どみだっこタイムとは、月1回朝の活動で、自分たちが考
たいいろいろな遊びをする時間
- 1年生を迎える会やゲーム集会などで高学年が低学年の世話
をしたり、ふれあつたりしている。
- あいさつ運動で、いろんな学年があいさつをし合ったり、話
しかけたりして、明るく楽しい雰囲気をつくっている。



5

これから取り組んでいきたいこと

- 1年生から6年生までの児童が協力しながらできる遊びを企画して、全校児童がもつとなかよくなりたい。
- 高学年が低学年に勉強を教えてたり、授業を見たりしてみたい。(今までやったことではないけど、先生方と相談して、してみたい。)



このような機会を増やすことで、ますます絆が深まり、
いじめ防止につながると考えます。

6

「どみだっこ」合い言葉

- (と) もだぢいっぽい
(み) んななかよし
(だ) れもがまなぶ
(の) ぞみばでつかい
(こ) ん気づよい



7

参加校番号③

令和7年度 徳島県いじめ問題子どもサミット

沖洲小学校の取り組み

1、きらきらねぎっこ

自分たちの学級以外の友達のいいところを見つけて、全校に紹介する活動です。届いたメッセージを人権委員会のメンバーが給食時間に校内放送で紹介し、その後玄関に掲示します。また、今年度からメッセージを見聞きした人が、書いてくれた人にうれしかった気持ちやお礼などの返事をする「きらきらねぎっこプラス」も加わりました。



玄関掲示



2、きらきら新聞

人権委員会が毎学期1～2回出している新聞です。学校行事や各学年の様子を取材して、みんなががんばっている様子を全校に伝え、知ってもらうことが目的です。できあがった新聞はテレビ朝会で紹介した後、児童玄関に掲示します。この活動は、私たちの先輩たちが企画してつくり出した活動で、人権委員会が大切にしている活動の一つです。

人権委員会の人々がタブレットを用いて、文章を考え打ったり写真を撮ったりしています。



3、人権標語

親子で考える人権標語を毎年一回募集しています。親子で人権標語を作る活動を通して、人権についてじっくり考え、人権問題に関心をもつことができるよう、けいはつをはかることをねらいとしたものです。人権標語は、教室に掲示したり、玄関に掲示する標語をテレビ朝会で発表したりします。



4、人権集会

昨年度から、全校での人権集会を再開しました。人権集会では、全学年で人権について考えることによって、一人ひとりが「ともに生きる仲間」として、支え合い励まし合えるようにしたり、一人ひとりを大切にし、互いに認め合い、差別をなくしていくこうとする心情を高め合ったりすることをねらいとしています。各学年が取り組んできた人権学習について発表したり、全校合唱をしたりすることで、みんなのよさや違いを認め合い、大切にする場として行われました。今年も12月に行う予定です。



昨年度の人権集会の様子



①あいさつ運動

毎月、各委員会とボランティア委員会
が正門であいさつ運動を行う。



あいさつの 合い言葉

あいさつの あいことば

あかるい声で

いつでも

さきに あいさつ

つたえ合おう みんなの気もち

笑顔いっぱいの 南井上小学校



② 150個のいいところ



それぞれのクラスで話し合い、学校のよいところを集める。

ボランティア員委会が朝会で劇をする。



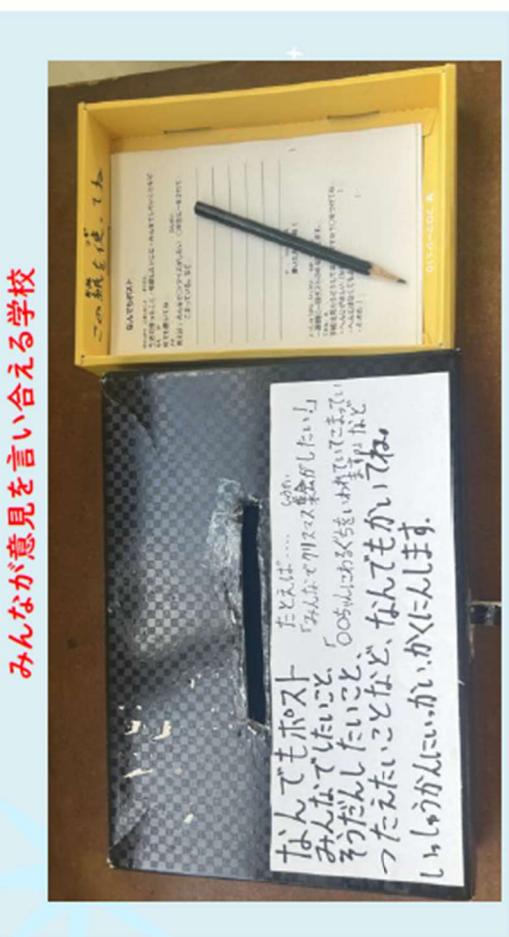
提供：スカイネクスト社

祝150周年記念 德島市南井上小学校 全校児童集合写真（2025年撮影）



いじめを絶対に認めない学校

みんなが意見を言い合える学校



ご清聴ありがとうございました





富岡小学校でしている活動

- ① ハンドカード
友だちのいじめ見つけた友達のいじめをカードに書いてもらいい給食の放送で
みんなが見つけた友達のいじめをやがんは、いることを声にして届けます!
- ② 人権集会
全校児童で人権について考え話し合います。
全員がいいじめのない学校になろうに9月から11月にかけて、いじめ防止をして
準備をしています。
- ③ 募金活動
ユニセフ募金への協力を呼びかけ
助け合いの輪を広げます。

いじめゼロをめざして 取り組んだ全校イベント

阿波市立土成小学校 集会委員会

土成小学校では、集会委員会がいじめ防止子ども委員会として、いじめゼロをめざした取組を行っている。5・6年生の児童8名からなる委員会だ。4月、1年間の活動をみんなで考える中で、人権を大切にできるような活動を行っていくことになった。以前から、土成小学校にあるたてわり班（通称：あかた班）を使った活動を行っていたため、全校で取り組める活動の案がたくさん出てきた。その中で、本校の通級指導教室（スマイル教室）で行っていた「ふわふわ言葉を集めよう」という活動を参考に、全校行事の構想が進んでいった。



ふわふわことばをふやそうプロジェクト

(通称：ふわプロ) 朝会発表の様子【写真1】

学校生活のふり返りで、「言葉づかいをもっとよくすべき」という意見が多かった。これを全校の課題とし、集会委員会として取り組む活動について考える中で、スマイル教室が行っている活動、「ありがとう」「おはよう」などのふわふわ言葉をつかう度に、ハートの台紙にシールを1枚貼っていくという活動を全校イベントとして取り入れる事に決定した。さっそく掲示物や話す内容等を準備・練習し、次の全校朝会で全校児童へ周知を行い、「ふわふわことばをふやそうプロジェクト」（通称：ふわプロ）が始まった。

作ったハートの台紙は、みんなが一番見やすい児童玄関の前に大きく掲示した。どんな言葉がふわふわ言葉になるのか、低学年の児童はわからないのではないかと考え、ハートの上にはふわふわ言葉の例を掲示した。期間は2ヶ月間。最初は、どれくらい集まるか不安だったが、ぽつぽつとシールが増えていき、時間がたつごとにたくさんのシールが貼られるようになった。



ふわプロ、掲示物 低・中・高学年で【写真2】

場所	運動場
準備物	
内容	○×クイズ・陣取り
時間	45分（2時間目）
クイズ	7問
クイズの内容	
①	ハロウィンの日には10月31日○かXか 答え○
②	ハロウィンが始まったのはアメリカである ○かXか 答えX アイルランド
③	日本にハロウィンの文化が伝わったのは1810年 ○かXか 答えX 1970年代
④	ハロウィンの合言葉は あけましておめでとうございます ○かXか 答えX TRIK OR TREAT
⑤	TRIK OR TREATの意味は 「お菓子をくれなきゃいたずらするぞ」である○かXか 答え○
⑥	ハロウィンに欠かせないかぼちゃを使った飾り物の名前はジャック・アーランタンである○かXか 答えX ジャック・オー・ランタン

ふわプロの経験を活かし、次の活動も企画している。次は、ハロウィン集会。ハロウィンについてのクイズをした後、運動場全体を使って陣取りを行う予定だ。土成小学校は、休み時間になると外で遊ぶ児童が多いため、体を動かしながら仲を深める活動を行うこととした。ルールも工夫することで、誰でも楽しめるようにしている。

次の活動の計画（ハロウィーン大会★）【写真3】

とくしまいじめ問題 子どもサミット2025

いじめ防止の取組発表

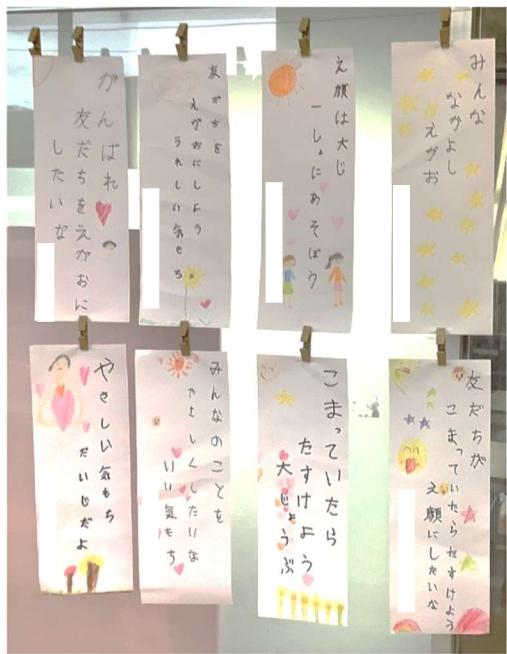
宍喰小学校



人権

ポスター





人権標語

人権絵手紙



人権集会

テーマ
楽しい学校にするために



人権標語の発表

キラキラメール
大賞の表彰

話し合い活動
楽しい学校って？

上板町立松島小学校 いじめ防止子ども委員会

あいさつ運動



人と人がつながるきっかけは、あいさつだと考えました。いじめ防止子ども委員会と学校のリーダーである6年生の児童が協力して、あいさつ運動をしました。その結果、学校全体が、温かい雰囲気に包まれて、より多くの児童が気持ちよく生活できるようになったと感じています。

イベント



いじめ防止子ども委員会では、自分と同学年の友達や他学年の友達と仲を深めるために、イベントを計画・運営しました。その様子を見ると、普段の関わりの有無に関わらず、みんなが楽しみながら、友達と関わっていました。これをきっかけに、今後の学校生活でも関わりをもってほしいと考えています。

校則の見直し



児童一人一人が気持ちよく学校生活を過ごせるように、校則の見直しを実施しました。その時に、校則を変えた場合の良いところと悪いところをしっかりと考えて、話し合いました。児童が校則を考えることにより、今までよりも、ルールを守ろうという意識が強まっているように感じています。

No.1

鳴門教育大学附属小学校 みんなニコニコ生活委員会

いじめのない学校に

私たちの学校では、「いじめのない学校にしたい」という思いのもと、人と人とのつながりをとても大切にしています。

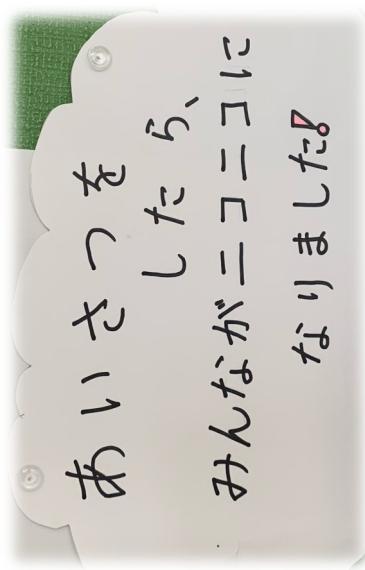
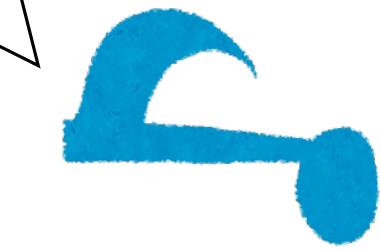
毎朝、正面玄関・東玄間に立ち、大きな声で「おはようございます」とあいさつをしています。その声に、たくさんの方達や先生が笑顔で返してくれることで、朝から温かい気持ちになります。あいさつをきっかけに、学校全体が明るい雰囲気に包まれていくのを感じます。



鳴門教育大学附属小学校 みんなニコニコ生活委員会
No.2

あいさつの大きさを広めるために、掲示物を作つてろうかにはつたり
朝の放送ではあいさつに関するオリジナルソングを流したりしていきます。

オリジナルソングはとても効果的で、
子供たちはその歌を口ずさんで、あ
いさつをしようという気持ちが育つ
ています。



あいさつの花

オリジナルソング
—言コメント

とくしま いじめ問題子どもサミット2025（徳島中学校 発表概要）

○学校紹介

「徳島中学校です。普段関わることのない他校の生徒会のみなさんと一緒に学べる今日を楽しみにしていました！よろしくお願いします。」

○発表内容（徳島中学校生徒会の取り組み）

①中央・いじめ防止委員と生徒会役員の連携

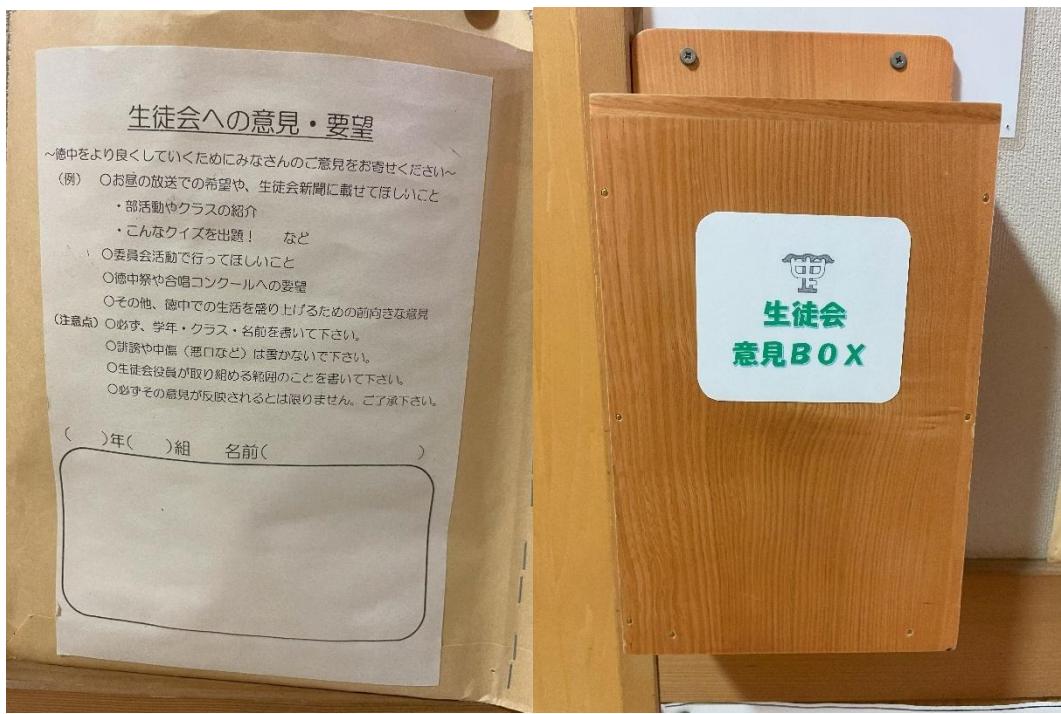
- ・他校では「学級委員」という名前で存在している各学級の代表が、徳島中学校では「中央・いじめ防止委員」として成り立っている。
- ・「中央・いじめ防止委員」の役割として、「学級の代表として、常により良いクラスづくりにつとめる」ことを筆頭に、いじめ防止に向けた取り組みを率先して行い、啓発などの活動を行っています。各学級の代表として、そして徳島中学校の一員として、決していじめを許さないという環境づくりを率先して行っている。
- ・各学級の「中央・いじめ防止委員」と生徒会役員、各専門委員会の長が集まり、中央議会を毎月開催している。中央議会では、参加者全員で、下記の意見ボックスで集まった意見に加えて、各学級の様子、生徒会役員への要望等を話し合っている。

②意見ボックスの設置および活用（下記図①を参照）

- ・各学年のフロアに1つずつ、意見ボックスを目安箱的な役割として設置している。
- ・意見ボックスへは、学校をよりよくするための意見・要望を、「誰しもが・必要であれば匿名で・何度も」投函することができる。集約された意見・要望は毎月の中央議会にて話し合われ、即時的に改善に向けての取り組みがなされる。

③毎日のあいさつ運動の充実

- ・毎朝、正門班と北門班に分かれてあいさつ運動を行っている。
- ・あいさつ運動では、「おはようございます」に一言を加えて、コミュニケーションを活性化している。また、のぼり（現在作成中）やあいさつ普及ポスター（下記図②を参照）を作成し、あいさつの重要性を可視化することで、生徒の意欲を高めている。



図①



図②

「とくしま いじめ問題子どもサミット 2025」八万中学校の取組について

○ 取組事項

1. 朝のあいさつ運動
2. 校地内清掃活動
3. 花を育て心を豊かにする活動
4. 文化祭での人権劇
5. 動画によるスマホ・タブレットの啓発活動

○ 取組内容

1. 朝のあいさつ運動

生徒会本部役員が正門や西門、駐輪場などの登校生徒が通りやすい箇所に分かれて、あいさつ運動をおこなっている。朝から学校の生徒とあいさつをおこなって、八中生が前向きになることを願っておこなっている。

2. 校地内清掃活動

あいさつ運動と並行して、生徒会本部役員が敷地内の落ち葉や雑草、ゴミ拾いといった清掃活動をおこなっている。八中生が学校を大切に思うことから、落ち着いた学校生活ができるように願っておこなっている。

3. 花を育て心を豊かにする活動

徳島中央警察署生活安全課と協力して校内中庭に花を植える活動をおこなっている。警察署の方から花の苗を贈ってくださり、生徒会本部役員と警察署の方、徳島中央少年補導協助員の方々などと一緒に活動した。この活動を通して、八中生が花を大事に育て心を豊かにすることや植えた花が明るく楽しい中学校の象徴となるすることを願って育てている。

4. 文化祭での人権劇

文化祭（八中祭表現の部）において、生徒会本部役員が人権劇をおこなった。テーマは、ルールやマナーを守って過ごすことは他者の尊厳を尊重するために大切というものである。八中生がルールやマナーを守ることの意義を理解したり、人を大事にする心を持てたりすることを願っておこなった。

5. 動画によるスマホ・タブレット啓発

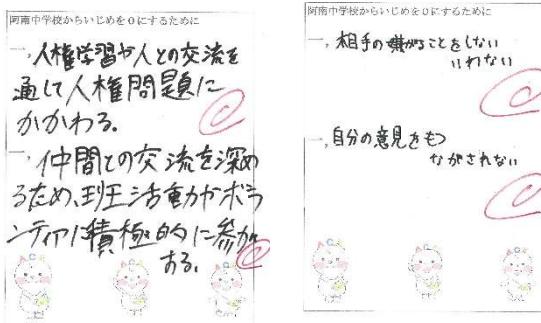
生徒会本部役員が中心となって、全校生徒を対象とした啓発活動を、動画の放映を通しておこなった。スマホやタブレットを使う時間を考えるといったハード面での啓発だけでなく、SNSを利用することで見えない相手を傷つけたり傷つけられたりすることがあるといったソフト面での啓発もおこなった。スマホやタブレットによって相手だけでなく自分も傷つけないようになることを願っておこなった。

【いじめ防止子ども委員会 阿南中学校の取組概要】

○「いじめ〇宣言」の作成（令和6年度）

テーマ：阿南中学校のいじめを〇にするために

- 人権作文発表会後に、個人で「いじめ〇宣言」を作成。



- グループで話し合い、宣言案を出し合う。（各学級）

- いじめ防止子ども委員会の開催。

各学級から2名ずつ選出された委員が、宣言案をもとに話し合い、「いじめ〇宣言」の作成。

- 全校集会での発表及び掲示。



- 1年間の振り返り。

宣言の内容を振り返り、実践することができていたか、次年度にどのような学年にしたいか、阿南中学校にしたいかを話し合う。

※「実際に作成したいじめ〇宣言」（令和6年度作成）

阿南中学校いじめ〇宣言	
3年生。	
阿南中学校から いじめを〇にするために	阿南中学校から いじめを〇にするために
ACE	ACE
一、考えてから言葉を発したり、行動したりする。 一、考へてから言葉を発したり、行動したりする。	一、自分の意見を大切にして、周りに流されず、正しい行動をする。 一、自分の意見を大切にして、周りに流されず、正しい行動をする。
一、コミュニケーションを取り、互いに理解を深めて認め合う。 一、コミュニケーションを取り、互いに理解を深めて認め合う。	一、誰かが困っていたら、優しく声をかけて話を聞く。 一、誰かが困っていたら、優しく声をかけて話を聞く。
一、傍観者にならず、注意したり、信頼できる人に相談したりする。 一、傍観者にならず、注意したり、信頼できる人に相談したりする。	一、相手の気持ちを考えて、思いやりのある言動をなげる。 一、相手の気持ちを考えて、思いやりのある言動をなげる。
一、相手が感動くなる言葉を遣ったり、行動をしたりする。 一、相手が感動くなる言葉を遣ったり、行動をしたりする。	一、相手の話をよく聞いて、一人一人の意見を尊重する。 一、相手の話をよく聞いて、一人一人の意見を尊重する。
一、自分自身が感動される言葉を残したり、行動をしたりする。 一、自分自身が感動される言葉を残したり、行動をしたりする。	一、人権学習の時間を大切にして、自分の意見を発言する。 一、人権学習の時間を大切にして、自分の意見を発言する。

○「いじめ0宣言」の作成（令和7年度）

① 阿南中学校いじめ0宣言作成

「阿南中学校のいじめを0にするために」をテーマに、1人1枚カードに書く。内容については「自分にできること、自分が取り組んでいくこと」について具体的に書く。活動前に、人権部生徒から活動内容の説明を行い、活動終了後、カードを回収する。

② 放課後に委員が集まり、カードを模造紙に貼り、教室掲示。



③ 1年生は集まった意見をもとに「阿南中学校1年生いじめ0宣言」を作成。

④ 今後、12月17日のいじめ防止一斉学習の際に、個人の行動宣言等を作成予定。

いじめ防止委員会

目的：一人ひとりが安心して過ごせる学校

～小さな気づきや行動から、いじめのない温かい学校づくり～

1. 多様な背景を理解する

目標：さまざまな立場や環境の人たちを知り、思いやりの気持ちを育む。

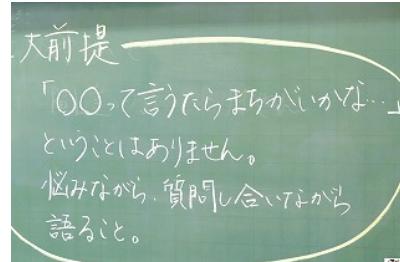
- 識字学級の訪問活動
- 特別支援学校の訪問活動
- 異文化交流



2. 思いを伝え合う

目標：自分の考えを言葉にし、相手の思いを受けとめる力を大切にする。

- 『語り場』での意見交換
- 校内人権意見発表会



3. 自らの行動を見つめ直そう

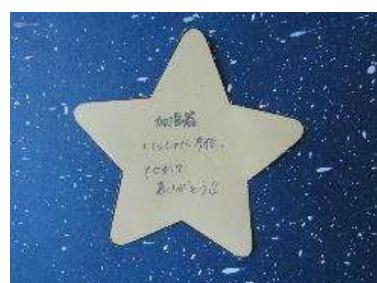
目標：身近な活動を通して、自分自身の行動や思いやりを振り返る。

- 人権作文の作成
- 人権標語
- 人権カルタ大会

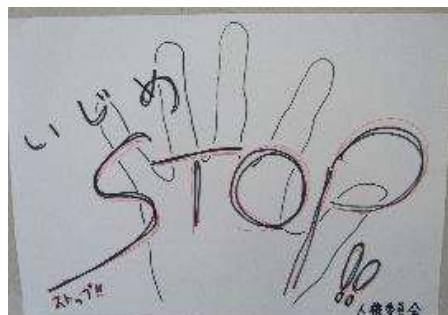


美馬中学校 いじめ防止子ども委員会 取り組みについて

①いじめ防止子ども委員会が各学年の廊下に「ありがとう BOX」を設置しました。「友だちがしてくれて嬉しかったこと」を星形のカードに書いてもらい、集まったカードを全校生徒が見られる場所に掲示しました。心温まるコメントがたくさんあり、子どもたちの行動に良い影響を与えました。



②いじめ防止子ども委員会が「人権ポスター」を作成しました。人権に関するポスターを各学年の廊下に掲示し、人権意識の向上に努めました。ポスターの作成にあたっては、自分たちで工夫を凝らし、キャッチフレーズやイラストを考えました。



③「人権を考える集会」の運営も、いじめ防止子ども委員会が中心となり行いました。各クラスの代表者が人権作文を読み、全校生徒で意見や感想を発表しあい、人権についての考えを深める機会をもつことができました。



「とくしま いじめ問題こどもサミット 2025」

三島中学校 いじめ防止こども委員会の取り組み状況

【活動内容】「スマホ等の安全利用三箇条」の呼びかけ

毎年12月に地域の三島会館でもちつきが開かれています。その中で、スマホの利用の三箇条として安全な利用方法を地域の方や参加した生徒に伝える取り組みをしています。三箇条をまとめたチラシを配布し、パフォーマンスを挟みながら伝えています。

また、2月にある入学説明会でも小学校6年生とその保護者にスマホの安全利用について呼びかけています。

取り組みを通して、地域の方々や小学生に伝えることでスマホ等の使い方を考えてもらう場になりました。また、生徒たち自身もスマホ等の日々の使い方を振り返る機会にもなりました。



スマホ等を安全に 使うための3箇条

一つ 使う時間を決めよう

- ・家族と話し合って、ルールを作る
- ・使用時間を決めて、必要のないときは外は使わない
(平日1時間・休日は2時間以内、夜9時以降は使わない)



一つ 安全に使おう

- ・フィルタリングや迷惑メール設定などを必ずかける
- ・サイトで知り合った相手には会わない

一つ マナーを守ろう

- ・友達が見て、悲しむようなことはしない
- ・友達や個人の情報を流さない
- ・情報の内容を螭呑みにせず、親や先生に相談する



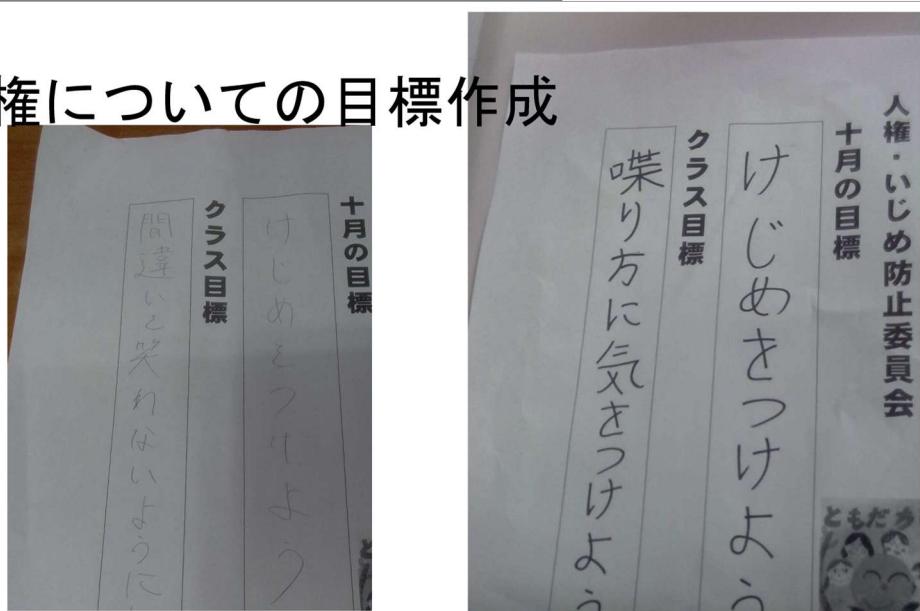
いじめ防止のために 行っている活動

三野中学校

人権意見発表会



人権についての目標作成



集会での寸劇



文化祭の人権劇



とくしま いじめ問題子どもサミット2025

佐那河内中学校

(委員会名) 人権いじめ防止委員会

佐那河内中学校の取組について

- 毎月の委員会で、学校・学年目標を決定する。

人権いじめ防止委員会の各学年2~3人程度が集まって(計7名)、話し合いをします。

- いじめ防止標語の作成・掲示

人権いじめ防止委員会の生徒全員と担当教員が標語を作成し、生徒玄関前に掲示しています。

- 人権宣言・人権啓発カレンダーの教室掲示(4月)

各学年の教室に掲示をしました。

- SOSを見逃さない匿名相談アプリの登録(5月)

- SOSを見逃さない匿名相談アプリ活用事業における出前授業の実施(6月)

- 人権に関する意見発表会の運営・実施(7月)

人権に関する意見発表会の司会・開会閉会のあいさつ・委員長の話・時計係・マイク係・感想の発表など、発表会が円滑に、そしてたくさんの生徒が意見を言い合い、会が活性化するように運営をしました。

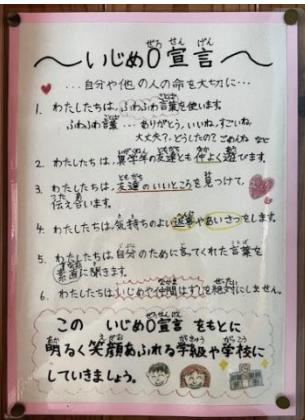
佐那河内村の人権擁護委員さんにご参列いただき、ご講評および、人権擁護委員の活動等について、お話をいただきました。

- スマホ・タブレットの使い方10箇条の見直し(10月)

生徒会本部役員が作成したものの内容見直しを実施している。

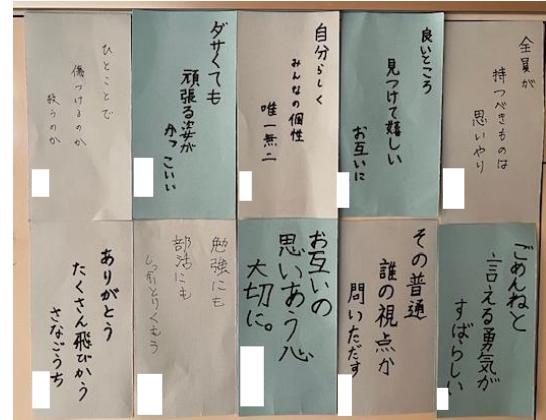
- 佐那河内村人権教育講演会に、全校生徒で参加(予定)(11月)

保健	人権	委員会
係の日も忘れないようにじょうう	しょりよくあいさつ	元気よくあいさつ
体調管理を中心付けよう		
服をもうちょっとかけろ	つまむる! 前にあいさつ	言われる前にあいさつ



学校目標

いじめ0宣言の掲示



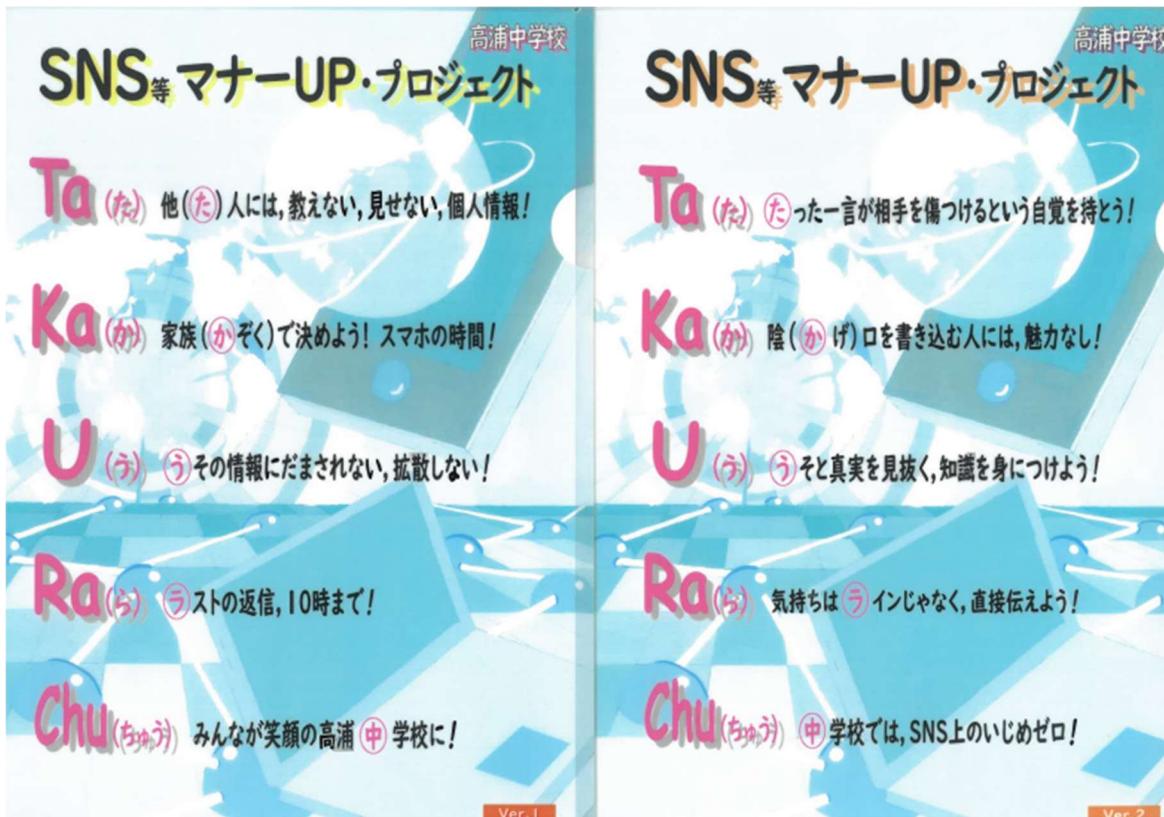
標語の掲示

「とくしま いじめ問題子どもサミット 2025」

いじめ防止子ども委員会の取組発表 概要資料 ~高浦中学校の取組~

1 SNS マナーUP 標語の設定

本校では、4年前からSNSの使い方についてマナーが守れるように独自のルールを設けている。スマホの利用が多くなっている昨今、SNSを介してのトラブルがないようにルールを呼びかけている。



2 SNS マナーUP 戦隊「まもるんじゃー」の活動



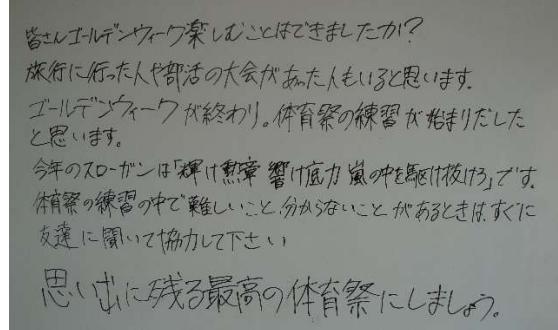
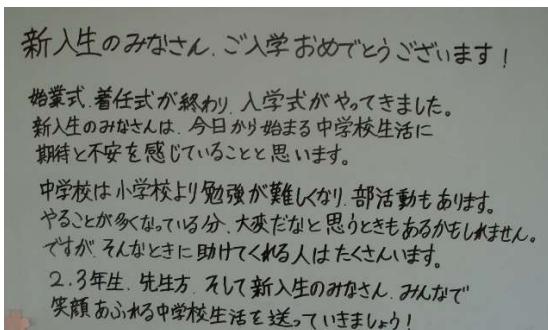
4年前から毎年、文化祭にSNS マナーUP 戦隊（戦隊の演者は生徒会役員）が登場し、SNS の利用について啓発運動をしている。

3 「人権の木」の掲示



学年の掲示物を通して、人権意識を高める工夫をしている。

4 生徒会ホワイトボードの活用



生徒会役員が交代で、玄関にあるホワイトボードにメッセージを書いている。お題は、学校行事のこと、季節のこと、ニュースなど様々であるが、誰もが過ごしやすい学校になってほしいと願って、メッセージを考えている。

上板町立上板中学校

いじめ防止あいさつ運動

毎週木曜日に生徒玄関前であいさつ運動を行っています！
全生徒があいさつできるよう日々励んでいます。

入学当初よりも元気に大きな声で挨拶できる生徒が増えています。



校内人権に関する意見発表会

発表者の体験や思いを聞き、人権に関する意見を共有しました。

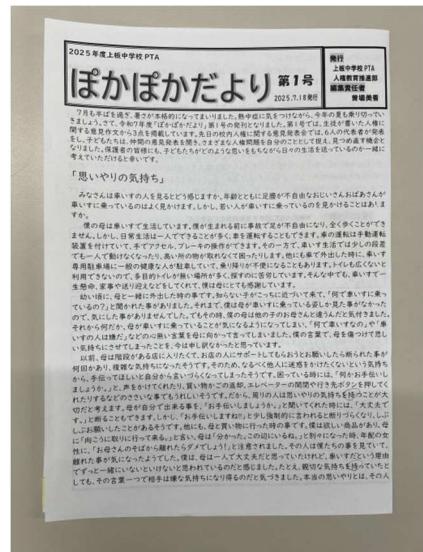
一人の悩みを学校全体の問題とし生徒全員で考えています。



ぽかぽかだより

毎学期ごとさまざまな人権に関する意見をまとめた資料を配布しています。

そして、この資料を通して親子で人権に関する関心を深めてもらつてます。



全校の取り組み

ほっこりバルーンという文化祭での出し物を出しました。一人ひとりが身の回りの人への感謝を綴ったメッセージカードを一つの作品にしました。



いじめ防止子ども委員会の取組

みんなが気持ちよく過ごせるための意識改革

●全校集会での呼びかけ

4月に今年度最初のいじめ防止委員会を実施しました。「みんなが気持ちよく過ごせるための意識改革」と活動指針を決め、全校集会等でいじめ防止の視点から呼びかけを行うことにしました。呼びかける内容は委員会で話し合い、SNS、陰口、無視、いじいじについて年に4回呼びかけることに決ました。

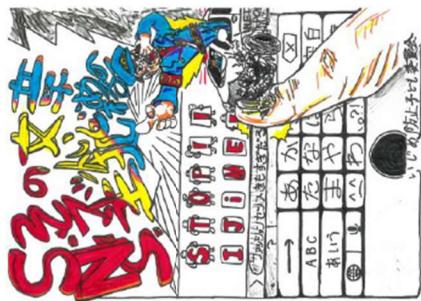
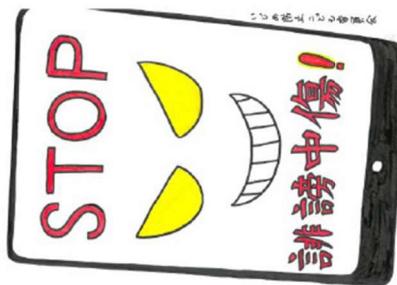
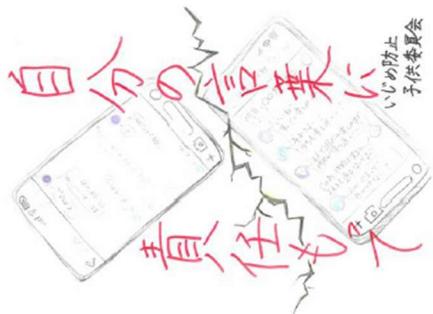


いじめ防止子ども委員会の取組

みんなが気持ちよく過ごせるための意識改革

●SNSによるいじめの 防止啓発ポスターの作成

昨年度、SNSに関係したトラブルしかあつたため、SNSにおけるトラブルを回避するための啓発ポスターを作成しました。ポスターを作成する中で、自分たちもSNSに潜む危険について再確認することができました。作成したポスターは校内に掲示し、生徒からも「目を引くポスターで、分かりやすい」という声がおきました。





県立川島中学校での取り組み

県立川島中学校生徒会

1

○あわ文化学習



2



3

○アンネのバラ



4



5

中高全体での取り組み

6



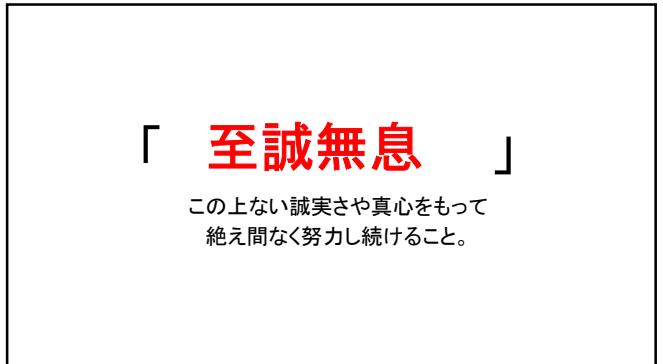
7



8



9



10



11

いじめ防止子ども委員会の取組発表概要

(鳴門教育大学附属中学校)

・月に一度の執行委員会開催時に活動

月目標とそれに対する行動目標の決定

～今年度の目標と行動目標の一例～

○一度考えてから発言するようにしよう

週1回以上の呼びかけを行う。(月)反省日(金)

○言葉遣いに気をつけた生活を送ろう。

ポスターをクラスで作成し、掲示

○教育実習の先生を気持ちよく迎えられるように言葉遣いに気をつけよう。

クラス内で選出した「心に虹をかけたまほうの言葉」を掲示

○前期のしめくくりなので気を引きしめた言動を心がけよう。

軽率な言動を見かけたら、自分達で率先して注意をする。

・月目標や行動目標の決定以外の具体的な活動例

あいさつ運動(生徒会)への参加

教室へのいじめ防止に関する掲示物の作成

心に虹をかけたまほうの言葉の選出と文化祭への展示

・今後の活動予定

中・高生による人権交流集会への参加

心温まる行動や言葉の教室への掲示

人権標語の作成 など

「とくしま いじめ問題 子どもサミット2025」

人権（いじめ防止）委員会 活動報告

徳島県立つるぎ高等学校

つるぎ高校人権（いじめ防止）委員会は、校内での講演会の準備・運営や年間7回実施している「人権の日」の司会等を主な活動として行っている。また、文化祭では人権展の企画・運営を行っている。

・「人権の日」について

本校では、年間7回「人権の日」を設定し、朝のホームルーム活動の時間を20分延長し、全校で人権について考える時間を設けている。人権（いじめ防止）委員会では、「人権の日」の朝に登校してくる生徒へのあいさつ運動で「人権の日」の呼びかけを行い、生徒に意識付けをさせるとともに、各ホームルームでは「人権の日」の司会・進行を行っている。

今年度の「人権の日」のテーマは次の通りである。

第1回 令和7年 4月25日（金） テーマ：いじめのないつるぎ高校にしよう
(リフレーミング)

第2回 令和7年 5月29日（木） テーマ：ビューティフル・ネーム

第3回 令和7年 6月26日（木） テーマ：ユニバーサルデザイン

第4回 令和7年 9月 9日（火） テーマ：お互いを大切にするために

第5回 令和7年11月 7日（金） テーマ：ちがいを差別にしないために

第6回 令和7年11月27日（木） テーマ：未定

第7回 令和8年 1月16日（金） テーマ：未定

なお、原稿は担当教員が作成し、人権教育課長・人権教育主事が校正している。人権（いじめ防止）委員の生徒は、「人権の日」の事前に人権（いじめ防止）委員会を開き、原稿の説明を受けた後、ホームルーム担任と打ち合わせをし、「人権の日」に臨んでいる。第1回と第4回については、いじめをテーマに人権（いじめ防止）委員会委員長が放送により、いじめをなくしていくと呼びかけた。

・各学年の人権講演会について

本校では、各学年で講演会を実施している。1年生は「ハンセン病について」の講演会、2年生は「デートDV防止セミナー」を実施している。人権（いじめ防止）委員の生徒は、講演会の資料作成や司会・進行を行っている。また、今年度は、徳島県人権教育指導員の弘瀬理沙さんによる「人権ってなに？」というテーマでいじめについてや部落差別についての講演会を実施した。

今年度の人権講演会は次の通りである。

- ・1学年 令和7年5月20日（火） テーマ：「ハンセン病問題を解決する仲間になつて」

講師：徳島県人権教育指導員 徳山 富子さん

- ・2学年 令和7年9月26日（金） テーマ：「デートDVってなに？若者のためのデートDV予防セミナー」

講師：女性グループ・すいーふ 山橋 潔子さん、阿部 和代さん

- ・全学年 令和7年9月30日（火） テーマ：「人権ってなに？」

講師：徳島県人権教育指導員 弘瀬 理沙 さん

・文化祭「人権展」について

本校では、文化祭「人権展」において、人権啓発標語・人権ポスター・人権書道作品の展示を行っている。また、今年度実施された「人権の日」の資料も掲示し、訪れた方への啓発活動を行っている。

徳島県立川島高等学校いじめ防止委員会

『とくしま　いじめ問題子どもサミット2025』報告概要

○徳島県立川島高等学校いじめ防止委員会について

(1) 組織

生徒会活動の中の各種委員会に位置づけられ、半期（前期・後期）ごとに、各クラスから2名の生徒が選ばれ委員を構成します。その中から委員長1名、副委員長1名が選出されます。

(2) 取組**・『人権の日の放送』での放送**

本校では、毎月10日、朝のHR時に生徒による校内放送で、『人権の日の放送』を行っています。いじめ防止委員会も、放送に参加しています。今年度は、「友人間での『いじり』を考える」と題して放送しました。「お笑い」のテレビ番組などで、芸人さんなどが行っている「いじり」について、相手の失敗などをつかって笑いをとる手法であり、安易に友人とコミュニケーションを使うことは、いじめの起点になり得ることを伝え、考えてもらいました。

・人権学習ホームルーム活動内の活動

人権ホームルーム活動で、「アサーション・トレーニング」や「インターネットによる誹謗中傷を考える」といった、いじめと関わるテーマの際には、積極的にホームルーム内での役割を果たすこととしています。

・いじめ防止啓発あいさつ運動

毎月、指導週間の際に、いじめ防止委員会が校門に立ち、あいさつ運動を行っています。朝一番の気持ちのよいあいさつから、生徒みんなの気持ちのよいコミュニケーションづくりを図っています。

「とくしま いじめ問題子どもサミット2025」資料 徳島県立鳴門高等学校 いじめやめん会



○第1回 いじめやめん会 6月27日(金)

生徒会役員、各クラスの人権委員、HR委員長の43名の生徒が集まり、「いじめ防止委員会」を開きました。

設置の目的や組織、役員の選出方法、これから鳴門高校でどのような活動をしていくのかについて話し合った後、選出された委員長や副委員長が今後の抱負について発表しました。具体的な活動としては、いじめをなくすための啓発活動として「人権標語やポスターの作成」、日々の学校生活の中で声を掛け合い、みんなが過ごしやすい環境づくりをめざすなどがあげされました。

一人一人の人権や仲間を尊重し、安心・安全でより良い鳴門高校になるよう話し合いを行いました。



○第2回 いじめやめん会 7月17日(木)

各クラスのいじめやめん会代表者の21名の生徒が集まり、「いじめ防止委員会」を開きました。

活動内容としては、生徒のみなさん一人一人が、「いじめ」について考え、「いじめ」をなくすための人権標語の募集や人権ポスターの制作等の呼びかけを行いました。鳴門高校の生徒のみなさんが、安心して明るく楽しい学校生活を送るために、話し合いを行いました。

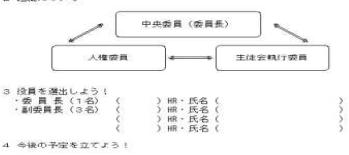
令和7年度 鳴門高校 いじめ防止標語 優秀作品



ワークシート 鳴門高校 第1回「いじめ防止委員会」 2025/06/28(木)

1 設置の目的
令和4年度の調査では、県内高内の小・中・高校、特別支援学校のいじめ認知率は約8割と過去最多になりました。特に高校では不登校生の人が過去3年で最も多く、いじめは不登校の要因の1つになっています。
昨年は県内高の約7割の公立高校に「いじめ防止委員会」を設置することになり、鳴門高校でも「いじめやめん会」を立ち上げます。
人権委員会や仲間が中心となって啓発活動をしない、一人ひとりの人権や生命を尊重し、誰もが安心・安全でよりよい学校にしていきましょう。

2 組織について



3 会員を揃えよう！

- 4月 各クラスでの生徒会活動の案内
- 5月 第1回「いじめ防止委員会」
- 6月 第2回「いじめ防止委員会」
- 7月 とくしま いじめ問題子どもサミット
- 8月 第3回「いじめ防止委員会」



○第3回 いじめやめん会 10月9日(木)

各クラスのいじめやめん会代表者の21名の代表が集まり、みんなから応募された「いじめ防止標語」の中から、令和7年度の優秀作品3点を厳選しました。

この優秀作品を印刷したポケットティッシュを、登校時に生徒のみなさんへ配布する予定です。私たちが心を込めて考えたこの3点の標語は、高校生であるみんなに、「いじめ」について自分自身で深く考え、小さなことからでも行動を起こすきっかけにしてほしいという願いが込められています。



○第4回 いじめやめん会 10月22日（水）

いじめ防止活動の一環として、代表作品の標語が印刷されたポケットティッシュを、登校する生徒のみなさんに配布しました。校門や生徒玄関前で「今日も一日元気に頑張ろう」というメッセージとともに手渡すと、多くの生徒が笑顔でティッシュを受け取ってくれました。「今日も一日元気に頑張ろう」という声かけは、忙しい高校生のみなさんの朝に少しでも前向きな気持ちと活力を与えられたようです。このような温かい交流を通して、生徒一人一人が「いじめのない、より良い学校生活を自分たちの手で作り上げていく」という意識を抱いてくれることを願っています。



○昨年度の取組 いじめやめん会

いじめやめん会委員長と副委員長3名が集まり、各クラスより選出された「いじめ防止標語」の中から、令和6年度優秀作品を選びました。今後、優秀作品に関しては、のぼりを作成し、近隣の撫養幼稚園・撫養小学校・市内中学校・公民館・図書館・鳴門市役所などへ配布しました。いじめの防止を地域ぐるみで考え、鳴門高校から発信するいじめ防止活動の実施に取り組むことができました。



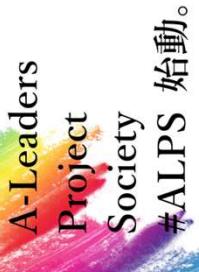
阿波高校いじめ防止委員会 A-Leaders Project Society

1. 阿波高校のいじめ防止委員会について
2. 今年度の取り組み
3. これからのかだい課題



2

1. 阿波高校のいじめ防止委員会について



- 阿波高校いじめ防止委員会を「ALPS」(アルプラス)と命名
- “A-Leaders Project Society”の頭文字
- Awa・A-wave・阿波弁で良いを意味する「ええ」などから阿波高らしさをみんなに親しまれる呼び名にしたいといいう思いから

動き出す。



1. 阿波高校のいじめ防止委員会について
2. 今年度の取り組み
3. これからのかだい課題



1

2. 今年度の取り組み

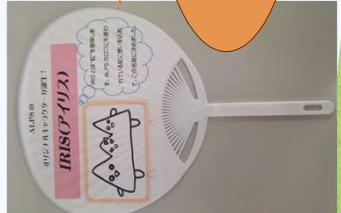
- 学校祭での企画



4

オリジナルミニうちわの配布

- ALPSのキャラクター「IRIS (アイリス)」です!
- お前は「IRIS (アイリス)」です!
- 合計1,000名に配布



5

2. 今年度の取り組み

「ありがとうございます山」の掲示

ALPSおみくじ入りハッピーバルーンの配付

ALPS祭での企画

ALPSについてのクイズ企画

校内の生徒の他にも、地域の方々も参加してくれました

ALPSおみくじ
このよつなか
ALPSオリジナルの
おみくじを
ハッピーバルーンの中に入れました

6



8

2. 今年度の取り組み

「ありがとうございます山」の掲示

ALPS祭での企画

ALPSについてのクイズ企画

校内の生徒の他にも、地域の方々も参加してくれました

5

3. これからのかだいの課題

現在のメンバーが3年生8人と2年生2人
3年生が卒業後は2人になってしまったため、
新メンバーを募集している。

ALPS便り
ボランティア募集中!
私たちと一緒に文化祭を盛り上げませんか?

文化祭準備をしよう!!
期間: 9月1日~5日
場所: 北C教室
内容: 出し物の準備

部活動や他の委員会活動もあり、
なかなか集まらない。

7

那賀高校 私達の学校で行っているいじめ防止

- 1 実施回数 年5回
- 2 内容 人権問題
- 3 対象学年 全校生徒



人権HR

2



朝の挨拶運動

- 1 時期 1か月に1回
- 2 時間 8時15分から8時35分
- 3 参加者 委員会や部活動に所属している人
- 4 内容 通学路に立って人権啓発カードや交通安全の旗を持つて呼びかける

4



人権放送

- 1 実施回数 年6回
- 2 時間 朝のSHRの後 15分間
- 3 内容 各HRの人権委員が気になる人権テーマについて全校放送で語る

3

新聞記事を用いたグループワーク



1 参加者 生徒会 人権委員会
生活規律委員会

2 内容 人権委員がいいじめ
防止策について話し
合い、各HRで紹介

「いじめ防止子ども委員会（ハートフル委員会）」の取組

徳島県立名西高等学校

1 はじめに

- ・各クラスの人権委員で組織されている「人権委員会」が、「いじめ防止委員会」を兼ねることになった
- ・そのために、各クラスの人権委員の人数を2名から3名に増やした

2 「ハートフル委員会」の発足

- ・「いじめをなくすためにできること」を考えるこの会に、親しみやすい名前をつけることになった
- ・昨年度の第1回人権委員会で、36名が案を出した。全校生徒の投票で候補を絞り込み、第2回人権委員会で話し合い「ハートフル委員会」に決まった（「ハートフル＝思いやりや優しさにあふれる」名西高校にしたいという言葉）

3 活動時期

- ・人権学習ホームルーム活動のある日が「名高人権の日」。その放課後に集まり、「いじめをなくすためにできること」や、その日のホームルーム活動の振り返りをしている。「ハートフル委員会」のメンバー以外に、他の人にも参加を呼びかけている（2～3人参加してくれた会もあるが、メンバー外の参加が少ないので課題）
- ・文化祭の人権展で、「いじめをなくすためにできること」について1、2年生人権委員が模造紙ポスターをつくり展示（R6年度）。夏休み前から少しづつ準備した

4 活動の進め方・活動内容

- ・人権教育課の先生とハートフル委員会のメンバーが相談しながら、話し合いのテーマを決め、話し合いの進行も人権委員が担当することがある

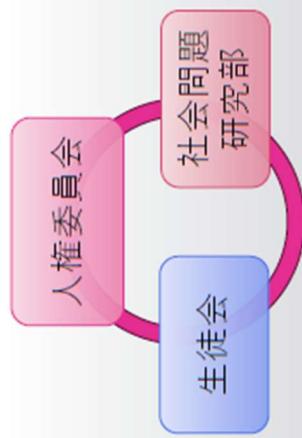
5 啓発活動（ポスター作成等）

- ・R6、7と、いじめ防止ミニポスターを作成（各クラスのハートフル委員会が1枚ずつ）。文化祭で展示し、「名高人権の日」ハートフル委員会の告知に使用。

6 今後の予定・目標

- ・R6のハートフル委員会で、ある人から「いじめと直面したときに声をかけるのはむずかしい。でも、日ごろから『いじめってださいよね』『いじめってかっこ悪いよね』と話すことはできるので、そうしていきたい」という言葉が出た。そして、名高ハートフル委員会の合い言葉は「いじめってださいよね」「いじめってかっこ悪いよね」になった。この言葉を広めたい
- ・他の学校の取り組みから学んだり、まねをしたりしたい

いじめ防止委員会の組織について



いじめ防止標語の作成

- ・いじめ防止委員会で標語を作成し、生徒玄関に掲示している。
- また、その標語でのぼり旗を作成し、あいさつ運動等で活用している。



いじめ防止委員会のこれまでの活動について

- ・いじめ防止委員会（年3回）
- ・標語の作成
- ・あいさつ運動（年2回）
- ・ありがとうの木の作成（作成中）



あいさつ運動

12月と1月に実施予定

- 生徒玄関付近であいさつ運動を実施。
- のぼり旗や人権標語を持つていじめ防止の呼びかけを行っている。



ありがとうの木

(現在作成中)

ありがとうの木



- 生徒玄関にありがとうの木を作成し、付箋にいろいろな感謝（ありがとう）のことばを書き木に貼っていく。

5. 成果と課題

成果

課題

- SNS等の使用について、正しい使い方を周知していく必要がある。
- 現在のところいじめは起きておらず、啓発活動や取組が生かされている。

これからも様々な取組を通して、
いじめの防止に努めたい。



阿波西高等学校マスコット「クッチーナ」

ご静聴ありがとうございました。